

製品名: VE-カドヘリン (リン酸化 Tyr731) ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab05620

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	130kDa

抗原情報

遺伝子名	CDH5
別名	CDH5; Cadherin-5; 7B4 antigen; Vascular endothelial cadherin; VE-cadherin; CD antigen CD144
遺伝子 ID	1003.0
SwissProt ID	P33151
免疫原	抗血清は、ヒト VE カドヘリンの Tyr731 リン酸化部位付近の合成ペプチドに対して作製された。 アミノ酸範囲: 697-746

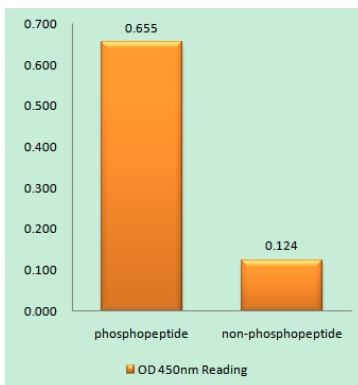
背景

この遺伝子は、カドヘリンスーパーファミリーの古典的カドヘリンをコードしています。コードされているプレプロタンパク質は、タンパク質分解によって成熟糖タンパク質が生成されます。このカルシウム依存性細胞間接着分子は、5つの細胞外カドヘリンリピート、膜貫通領域、および高度に保存された細胞質テールで構成されています。このタンパク質は、細胞に同種親和性接着能力を付与することで古典的カドヘリンとして機能し、内皮細胞接着結合の構築と維持に役割を果たしています。この遺伝子は、乳がんや前立腺がんにおけるヘテロ接合性消失イベントに関与する16番染色体長腕領域の遺伝子クラスターに位置しています。[RefSeq 提供、2015年11月],function:Cadherins are calcium dependent cell adhesion protein.,function:Cadherins are calcium dependent cell adhesion protein. they are preferred to interact cell;このように、カドヘリンは異種細胞の選別に貢献している可能性がある。このカドヘリンは、細胞間接合部の接着と組織化を制御することで、内皮細胞生物学において重要な役割を果たす可能性がある。α-カテニンと会合して細胞骨格との結合を形成する。類似性: 5つのカドヘリンドメインを含む。細胞内局在: 細胞間境界、おそらく細胞-マトリックス境界に認められる。組織特異性: 内皮組織および脳。,

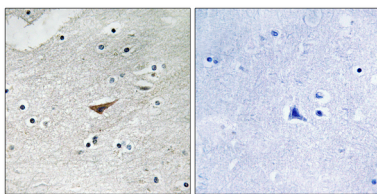
研究分野

細胞接着分子 (CAM) ;白血球の内皮透過性遊走;

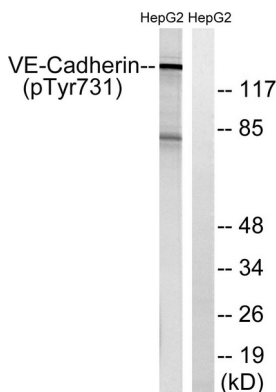
画像データ



VE-カドヘリン (リン酸化 Tyr731) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定法 (リン酸化 ELISA)



VE-カドヘリン (リン酸化 Tyr731) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



Na3VO4 0.3 mM 40°処理した HepG2 細胞ライセートの VE-カドヘリン (リン酸化 Tyr731) 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。

